

丹波篠山市議会だより

No. 113
2025.1



■ 令和5年度決算を認定 P2~3

■ 一般質問14人が登壇 P6~12

■ 政務活動報告会を開催します P17

作品介绍 「にじいろのさかな」

篠山養護学校中学部の12人の生徒が「にじいろのさかな」のお話を聞いて、作品づくりをしました。はじめに、ぼくのわたしのにじいろのさかなを作りました。大きなにじいろのさかなの1匹は、ペットボトルキャップにおはながみを詰め、カラフルに仕上げました。もう1匹は、オーナストリアのアボリジナルアートに挑戦しました。一人ひとりがうろこに綿棒で模様を作ったものを貼り合わせ、素敵な共同作品になりました。

令和5年度 一般会計決算を認定

保育士不足対策に一定の効果、
更なる充足へ向けた取り組みを！

11月28日会議



成委託費については、令和5年度から債務負担行為を行い、令和6年度も引き続き作成しているところであり、10月末にフルオープン予定である。(尚、現在は、日本語版、英語版の公式ホームページが公開されている。)

決算審査は、前年度に実施された行政事業の効果等を評価し、次年度以降の改善に繋げるという重要な役割があります。

審査は、総務文教、民生福祉および産業建設の各分科会で実施し、令和5年度一般会計はじめ特別会計および公営企業会計の決算を認定しました。

審査の際の主な質疑は次の通りです。

■次世代育成支援対策事業

問 保育士確保対策ということで「園見学バスツアー」を実施しているが、経費の詳細と効果について説明を。

答 令和5年度には、「保育教育就職フェア」と「園見学バスツアー」を開催し、それぞれ7人が参加し、そのうち5人が本市のこども園や保育園に勤務している。総額で約11万5千円執行したが、チラシの作成費や大学への案内など広報に関する郵送代が主な経費となっている。



■非常備消防費(消防団)

問 市の条例で定める消防団員の人数と充足率はどのような状況か。

また、団員が足りていない分団へは、どのような対策に取り組んでいるのか。

答 市の条例では1253人、現在の消防団員は1178人であり、充足率は94%である。

団員の減少に伴う対応については、昨年度初めて、市独自のチラシを作成し、自治会などに配布して、団員の確保に努めている。

また、平日昼間に活動できる団員が少ないので、機能的消防団員も確保しながら団員数を維持している。

■塵芥処理費について

問 丹波市山南町からの「ごみ」の受け入れ期限はいつまでか。

また、今後、1億4500万円の分担金がなくなるようになるが、どのような対策を考えているのか。

答 ごみの受け入れは令和8年3月までとなっており、分担金については一般財源で補填せざるを得ないと考えている。

■万博推進事業について

問 英語版丹波篠山市マップおよびパンフレットの制作や、公式ホームページ動画作成の委託については、どのようなものを作成したのか。

また現在の活用状況は。

答 これまで日本語版のマップやパンフレットはあったが、インバウンドに対応するため、その英語版を作成した。マップは観光ステーション、各支所、商工観光課の窓口においている。また、公式動画やホームページの作

■農地利用促進事業

問 令和5年4月から農地バンクを通じた農地の貸し借りを行うようになったが、制度が新しくなっても、農地の借り手は少なく、貸したい方が多い状況が続いているのか。

また、制度が変更になったことによるメリットは何か。

答 これまでからも農地の貸出しを希望される方が多い状況で、新規の貸借は年間約100ヘクタール強の農地の貸し借りが進んでいる。

地域計画の策定の中で、規模を拡大したい担い手の方々からは600ヘクタール程度の余力があるという意向調査の結果をまとめている。農業をリタイアされた方の農地をきちんと受けていただける担い手育成を進めていく。

また、この農地バンクを活用したときのメリットについては、例えば、地権者が多数あり、耕作者が1人という場合、耕作者は農地バンクとの貸借手続のみとなるため事務負担を軽減することができる。

令和5年度 特別会計(3会計)決算を認定 電子カルテ導入で、 医療処置や医療事務に効果が！

■令和5年度 国民健康保険特別会計

問 各診療所に電子カルテシステムを導入した結果、どのような効果があったのか。また、マイナ保険証の利用状況は。

答 電子カルテを導入したことで、医師と看護師が、薬の処方や採血などの処置内容などを同時に確認することができるようになり、処置等の処理が早くなった。

また、医療事務については、これまでは手書きのカルテを見ながらレセプトに入力していたが、その事務がなくなり、スムーズに処理ができています。

マイナ保険証の利用は、令和6年7月では、東雲診療所で22%、後川診療所で35%、草山診療所で10%、今田診療所で14%となっている。

■令和5年度 後期高齢者医療特別会計

問 被保険者資格、給付申請など届出等の事務や被保険者証の受け渡しおよび保険料の徴収事務などでDX化はどの

程度進んでいるのか。

答 広域連合からはDX化について具体的な連絡は来ていない。現状としてDX化を進めなくても、現体制で対応できている。

■令和5年度 介護保険特別会計

問 介護保険料の消滅時効は2年となっているが、不納欠損となった場合、保険料未払い者に対する介護サービス利用のペナルティはどのようになっているのか。

答 消滅時効による不納欠損になると、自己負担が1割から3割となる。消滅時効を防ぐため、納付誓約書を結んで時効の中断に努め、1か月に少額でもお支払いいただくよう説明を行うなど、完納に向けて取り組んでいる。

令和5年度 公営企業会計決算を認定 上水の配水量、下水の処理水量は微増 未収金額は、ともに減少

■令和5年度 水道事業会計

問 給水件数が0.8%増加しているが、その要因やこれまでの推移はどうか。

答 給水件数については、核家族化が進み、丹南および篠山区域で、若い世代が、実家を離れて新しくアパートや一軒家などに住むことが給水件数の増加している大きな要因となっている。

過去10年を見ても同じような傾向で、少しずつ給水件数が増えている。

■令和5年度 下水道事業会計

問 下水道使用料の未収金の徴収に関して、令和5年度は、前年度と比べ、公共下水道事業とコミュニティ・プラント事業の未収金が増加し、特定環境保全公共下水道事業と農業集落排水事業が減っているが、毎年度同じような状況なのか。

答 基本的な推移として、公共下水道は、人口の多いところにあるため、例年未収金が多く、特定環境保全公共下水道事業と農業集落排水事業は、人口

の少ないところのため、未収金は少ない。

コミュニティ・プラント事業については、城南地区で分譲住宅が建ち、人口が増えていることに伴い未収金も若干増えつつある状況である。

◎予算決算委員会の審査意見

今回の決算審査に当たり提出された決算説明資料には多くの誤りがあり、分科会の審査において担当部署から再度聞き取りを行うなど、審査を混乱させる事態に至ったことは誠に遺憾である。

今後、このようなことがないよう組織内部での意思疎通を図った上で適正な事務執行に留意するとともに、正確な資料を提出いただくよう申し添える。

補正予算

(10月31日会議・12月20日会議(師走会議))

10月31日会議



12月20日会議



10月31日会議では、議案第66号一般会計補正予算、12月20日(師走)会議では、第76号～第78号までの一般会計補正予算及び特別会計(2会計)をそれぞれ可決しました。

| 議案 | 議題 | 目的 | 補正額 |
|-----|-----------------------------------|--|-----------------------------------|
| 66号 | 令和6年度丹波篠山市 一般会計補正予算(第6号) | 丹波篠山国際博の開催に向けた広告宣伝費および夜間イベントの安全対策費を追加 | 1,638万円 |
| 76号 | 令和6年度丹波篠山市 一般会計補正予算(第8号) | 万博推進事業、丹波篠山ふるさと応援寄附金事業などの必要経費および事業執行の精査による増減 | 2億3,199万円 |
| 77号 | 令和6年度丹波篠山市 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | 事業勘定はシステム改修費や過年度保険給付費交付金の償還金の増、直営診療所勘定は事業費確定および事業費精査による減 | 事業勘定 251万円 直営診療所勘定 △315万円 |
| 78号 | 令和6年度丹波篠山市 介護保険特別会計補正予算(第2号) | 介護保険事業勘定は介護保険基幹システム改修費などによる減、介護サービス事業勘定は人事異動等に伴う人件費の精査による増 | 介護保険事業勘定 △73万円 介護サービス事業勘定 75万円 |

主な質疑

| | 事業名・補正額 | 質疑 | 回答 |
|-----------|---------------------------|---------------------------------|--|
| 議案 66号 | 万博推進事業 (1638万円) | 文化庁のアドバイスにより実施する告知宣伝の具体的内容は | ヤフーニュースでの事前告知、テレビ番組や雑誌での広報など、付加価値をより高める広告を行う。 |
| | | 車で来場する人への駐車場と混雑対策は | 三の丸西駐車場や広場を活用する。また警備計画を立て、混乱が起きないような体制をつくっていく。 |
| 議案 76号 | 日本の美しい農村未来へ事業 (33万円) | ユネスコ創造都市国際会議開催企画の委託について | 市が大枠を策定し、事業者と市民意見を取り入れながら実施予定。 |
| | 学校給食調理費 (775万円) | 今後の給食費無償化の可能性は | 経常的な予算確保が必要であり、実現する方策がないか検討している。 |
| | 妊娠・出産包括支援事業 (107万円) | 今年度の予想出生数と産後ケア利用限度は | 出生数は年間約200人、宿泊型ケアは最大7日、訪問型は1回2時間、日帰りは2回まで。 |
| | 多文化共生事業 (△10万円) | 外国人相談窓口の現状について | 10月以降、4件の相談実績。ポケットーク等を用いて対応中。 |
| | 集落農業守り隊支援事業 (△1,500万円) | 予算が減額となっているが、現在の実績は | 当初予算3,000万円から減額。申請実績は32件、補助対象面積は175ha。 |
| | 道の駅整備事業 (3,837万円) | 設計進捗と事業費見込みは | 基本設計進行中、事業費は約2億5,500万円を想定。 |
| | 万博推進費 (1,140万円) | 京都駅発(大阪経由)篠山駅までのJR貸切列車を運行する理由は | 話題性と国際博オープニングの観光客誘致を目的としている。 |
| | 介護保険特別会計 | 居宅介護サービス給付費減額と介護予防サービス給付費増額の理由は | 利用者の軽度化・重度化による予算配分の変更。 |

12月20日会議

一般会計補正予算 1790万円(即決処分)

| 議案 | 議題 | 目的 | 補正額 |
|-----|--------------------------|--|---------|
| 79号 | 令和6年度丹波篠山市 一般会計補正予算(第9号) | 令和6年11月1日から2日の豪雨により被害を受け、早急な対応が必要な農業用施設並びに道路施設に対する復旧経費 | 1,790万円 |

師走会議(12月)で 可決した条例改正

■丹波篠山市附属機関設置条例の一部を改正する条例

本市附属機関である「丹波篠山市女性委員会」は、平成11年に設置され、これまで延べ108名の女性委員が市政について調査・研究を行い、女性の視点から政策提言を行なってきた。

しかし、本市62審議会の女性登用率が40%を超え、女性の意見を施策に反映できる環境整備が進んだことから、同委員会を附属機関設置条例より除くための改正。

これにより、丹波篠山市女性委員会は終了する。

問 今回の条例改正の説明では、女性委員会の委員から、性別にかかわらず多様な意見が尊重されるべきだと意見があり、また実際、女性の登用率も伸びている。丹波篠山市は女性の視点・意見ということではなく、男性も女性も同じ立場に立って動いているというような捉え方でいいのか。

答 女性の立場の意見というのは重要であり、まだまだ男性社会であるなかで、女性でしか感じられない視点での

意見は大切にしていかななくてはいけないと考えている。男女共同参画審議会では、全体の4割の方が女性である。

女性でしか感じられないところでの意見を頂くことで、施策に活かしていきたい。

■丹波篠山市まちづくり条例の一部を改正する条例

国や地方公共団体が行う一定規模以上の開発行為等について、その内容を明確にし、必要な場合に確実な協議を実施する。

問 公共工事において、景観への配慮が十分協議されなかった事例があった。どのようなところが景観に配慮されなかったのか。

答 山の斜面にコンクリートが全面むき出しになっており、緑化などの景観への配慮がなされていない事例があった。

問 条例改正をすることを、県等と事前に協議されているのか。

答 本条例改正について、県との協議はしていないが、公共土木工事も景観

への配慮が必要であり、手続が要るということは県に対して説明している。

また、条例の実効性を高める上で、手続の必要性についてしっかり周知していくことも重要だと考えている。今後、条例改正の説明と併せて周知を図っていきたい。

■丹波篠山市立歴史美術館、丹波篠山市立武家屋敷安間家史料館、篠山城大書院及び丹波篠山市立青山歴史村の共通入館料に関する条例の一部を改正する条例

開館以来4館共通入館料の見直しは行ってきておらず、維持管理経費が年々増加するなど社会情勢が変化する中、適切な料金体系とする。

問 共通入館料の適切な料金体系として25%の割引率を設定した根拠は何か。

答 今回の改正にあたり全県を調査した結果、丹波篠山市の共通入館料の割引率が50%と突出していることが判明したため、全県平均の共通入館料の割引率約25%に改定することにした。

問 従来から委員会で指摘しているのは、共通入館料のみではなく、各館の料金体系の見直しの必要性である。

年々維持管理費が増加する中、各館の維持管理費を、4館共通券を購入され

た方のみに負担を強いることは公平性の観点から問題はないのか。

答 各館の入館料について、全県平均と比較した結果、大差がないことから今回の改定を見送った。今回は、共通入館料の単価を上げ、入館者の動向を注視していきたい。各館の料金の値上げについては、入館者数にも影響が出る懸念もあるが、維持管理費増大への対応や、値上げを検討している城郭等も他市にはあるため、調査研究を重ねながら今後検討していきたい。

共通入館料の料金

| 旧 | | 新 | |
|---------|--------|---------|--------|
| 対象者 | 金額 | 対象者 | 金額 |
| 大人 | 600円/人 | 大人 | 900円/人 |
| 大学生、高校生 | 300円/人 | 大学生、高校生 | 500円/人 |
| 中学生、小学生 | 150円/人 | 中学生、小学生 | 300円/人 |

※保護者同伴の6歳未満は無料

■丹波篠山市自家用有償旅客運送条例の一部を改正する条例

■丹波篠山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例



安井 博幸

1. JR篠山駅周辺まちづくりビジョンの推進を
2. なぜ今田道の駅が2億5千万円か

QRコード



問1 JR篠山駅周辺まちづくりビジョンの将来像のように、東駅前の交通の流れを良くするためには、西吹大沢新線トンネル工事の早期完成が不可欠ではないか。

トンネル区間を含めた残り約400m区間の整備に、概算で約30億円の事業費が必要となる。市の事業としての実施は困難であり、バイパス事業として、谷衆議院議員や県土木部へ整備の要望を続けている。

関西大学の学生達による駅リ・デザインコンペで、市はどの案に共感し、駅東口周辺や駅舎の整備をするのか。

どの提案も斬新でユニークで、いず

4班:「 森の駅 篠山 」

「篠山の自然を見せる」をコンセプトに、駅舎・駅前に篠山の自然を取り入れたデザインを提案

森の駅 篠山

学生たちによる提案

れも歩車分離で広場などを充実する点が共通している。その中でも「森の駅」を現実的なプランとして考えている。

JR西日本の株式取得で、物言う株主に。

株主総会の決議を左右するほどの株式を小規模自治体が保有することは不可能である。株価下落のリスクも踏まえ、今後調査し検討していきたい。

JR西日本への約9億円の貸付金を原資に、駅東口と駅舎の整備を。

貸付金の使途については、駅舎及び駅周辺の整備だけでなく、市の様々な施策にも活用していきたい。

問2 今田道の駅の事業費が、なぜ、令和4年の市長答弁から4倍もの2億5千万円になったのか。

当時はまだ全体構想を策定していなかったため、職員プロジェクトで最小限の事業費として算出し6300万円と答弁した。道路整備や芝生広場へのデッキテラスの設置、農産物販売所や陳列スペースの拡大などで2億5千万円になった。



隅田 雅春

1. カスハラ、パワハラ防止条例の制定を
2. 「核兵器先制使用禁止宣言」を国連へ
3. ユネスコ創造都市との交流を

QRコード



問1 カスハラ条例を制定してはどうか。

市内の事業者のカスハラ被害状況について商工会に尋ねたところ、それほど件数は多くないが、相談があった場合は顧客の対応方法などのアドバイス等を行っている。条例化については、今後の検討課題とする。

特別職等を対象に含めたパワハラ防止条例を制定してはどうか。

ハラスメント防止等の要綱はあるが、特別職等は対象外となっているため、特別職を含めすべての職員がハラスメントをしない・受けない環境を整えるために要綱を改正する。

問2 日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことを機に「核兵器先制使用禁止宣言」を国連に提出してはどうか。

核兵器の先制使用の禁止ではなく、全面的な使用禁止を願っており、議会も含め、ともに考えていきたい。

問3 ユネスコ創造都市ネットワークに加盟が認められ9年経過するが、広く市民に浸透していないのか。近隣の市民の機運を高めるため、近隣の

国の加盟都市に市民と表敬訪問してはどうか。

国内外の加盟都市と交流を行っているが、広く市民に取り組みを伝えるため、広報誌やホームページによる情報発信を積極的に行っていく。

また、令和7年度の丹波篠山国際博覧会に合わせ、韓国や中国、タイなどからクラフト分野に加盟している都市を招聘し、国際会議を開催する。その会議に、より多くの市民に参加してもらうことで、ユネスコ創造都市加盟の効果を実感してもらおうと考えている。





金崎 美和

子ども一時預かりの充実を

問 「ござっ子すくすくガイド」では、子ども一時預かり事業として、「富山こども園一時預かり保育事業」及び「丹波篠山市ファミリーサポートセンター」を掲載している。しかし、富山こども園は保育士不足等の理由から、今年度は休止している。ファミリーサポートの中には「かんがるー」という子ども一時預かりもあるが、年間36回、金曜日の午前中の2時間のみ。現在、利用者の多くがキャンセル待ちのため、年間実施日の増加や午後受け入れなど事業の拡充をし、安心して子育てできる環境づくりを進めてはどうか。

動拠点のさらなる確保と補助金の増額等の支援を検討する。

「かんがるー」は、四季の森生涯学習センター東館の和室場所を実施日毎に借り、毎回会場を準備する必要がある。保護者が普段から利用している市内4カ所ある子育てふれあいセンターの中の一区画を利用出来れば、保護者は利用時に安心感が増すと考えるが、部屋のシェアリングは難しいか。開館時間と重複するのが困難であれば、利用しない曜日に利用できないか見解を伺う。

「かんがるー」は、丹波篠山市社会福祉協議会が実施しており、市は補助金を交付して支援をしている。実施日の増加や午後の受け入れを行うには、事業者で検討頂く必要がある。市では、活



施設の一区画を「かんがるー」の託児場所として確保する事は、スペース的に難しい。なお、「にしき」と「こんだ」の子育てふれあいセンターについては、火曜日のみ開館としているため、他の曜日であれば活動拠点としての提供が可能と考える。「かんがるー」の事業拡大については、事業者の職員体制の確保や、拡充に伴う市からの補助金の見直し等、検討する事項は多くある。社会福祉協議会と情報交換しながら検討していきたい。

QRコード



堀毛 宏章

交通施策および交通安全について

問 三の丸西駐車場の乗用車駐車料金は、令和4年度より土・日・祝日は平日の倍額となったが、バス料金は据置きでバランスを欠いている。増収を図るためにも改定すべきではないか。今後、どのようにしていくか検討する。

南新町と上立町駐車場の駐車料は、いわゆる料金ボックス式で、入金は利用者の良心に委ねた格好になっている。入出庫と精算の機械化により未徴収の発生を防ぐべきではないか。

機械化は、設置導入費が多額なため、今後、駐車台数が増加し、採算が取れるようであれば検討する。

市庁舎前の駐車場は、十月の市役所開庁日には観光客の車が多数入り、来庁する市民の利用がしばしば出来ない状況になっている。観光客に利用を控えていただくような看板の設置が必要ではないか。

観光利用の駐車については、三の丸西駐車場や西新町駐車場への誘導看板等を設置する。

城下町地区を巡回する「めぐりん」

QRコード



の今後の基本施策と利用客の増加対策、利便性向上について。

「めぐりん」の目的や観光客へのサービスのため、当面は無償運行とする。また、利用客の増加を図るとともに、利便性を向上していく。

自転車の「酒気帯び運転」や「スマホながら運転を罰する規定」が施行された。ヘルメット着用とともに市民への周知、啓発を。

市民に啓発していく。高校生のヘルメット着用については、重要性を伝え、着用するよう働きかける。



荒木 礼子

丹波篠山市の高校のあり方について
(県立篠山東雲高校 丹波篠山市立化の検討を)

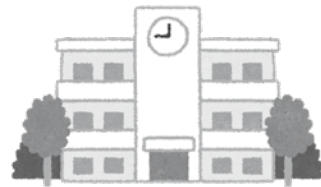
QRコード



問 兵庫県の「県立高等学校教育改革第三次実施計画」における、市内の県立3高校の統合問題について、市としての方向性を県に示すということだが、現在の考えを問う。

市内の保育園から中学生までの保護者、ふるさと一番会議や中学校PTA懇談会出席者へ実施したアンケート、また、教育関係者や自治会、各団体等関係者へのヒアリングを8月から10月にかけて実施した。これらをもとに取りまとめ、市としての意見をおおよそ次の方向で考えている。

1. 市内3高校は宝。3高校をできる限り存続してほしいというのが市民の願いである。
2. 県において統合がやむを得ないのであれば、当面は篠山産業高校と篠山東雲高校を統合し、篠山鳳鳴高校の2校とする。
3. 10年後の高校1年生は、市内全体で約240人となることから学力の維持、部活動の充実、学校全体の活力などから、将来は1校に統合すべきと考



本市の農業を担う人材育成を目指し、篠山東雲高校の市立化を提案する。篠山東雲高校の在り方を含めどのように考えているか。

他県の例で、市立高校の管理運営費は年間1億数千円かかっていることから、すぐには結論が出せない。

第三次実施計画の要綱にある、生徒を全国募集する新たな特色ある学科の設置を県に要望してはどうか。

13年前、東雲高校は分校から県内で唯一独立校になったが、当時よりも状況は厳しいので、現状でできるだけ皆さんに理解されるような方向性をまとめたいところである。



前田 えり子

マイナ保険証一本化への対応について

QRコード



問 現行の健康保険証のマイナ保険証へ移行が進められているが、トラブルとその対応に、不安の声が上がっている。現行の保険証は、期限が切れるまで引き続き使えるが、マイナ保険証を持たない人には「資格確認書」、持っている人にもトラブルに備えて、「資格情報のお知らせ」が交付される。

保険証を廃止しながら、保険証と同じ「資格確認書」「資格情報のお知らせ」を配るのは、支離滅裂だ。

健康保険証の廃止は安心して医療、社会保障を受けられる国民皆保険制度の根幹を揺るがす大問題だ。

トラブル、「資格確認書」や「資格情報のお知らせ」の発行、有効期限切れなどに備える体制はできているか。

(国民健康保険の場合)「資格確認書」「資格情報のお知らせ」は、令和7年7月31日までに新たに加入される被保険者に発行するので、窓口で丁寧に説明する。

後期高齢者医療制度に加入の被保険者には、マイナ保険証の保有状況にかかわらず「資格確認書」を発行すること

になっている。現行の被保険者証と内容は変わらないので、高齢者の不安は少ないと考えられ、混乱することはないと考える。

有効期限切れによりマイナ保険証の利用ができない方については、マイナ保険証の利用登録状況のデータ確認により「資格確認書」を交付する。期限が過ぎても3か月間は資格確認ができるという措置が講じられている。





大内 正博

多様な担い手の支援について

問 農業者のニーズを市ではどのように把握し、施策を展開されようとしているのか。

令和5年度からは、地域計画の取り組みのなかで農家ごとの現状を把握し、旧小学校単位で話し合いを行っている。農会長や農業者との意見交換やアンケート調査など、様々な機会を通じて意見を聞き、施策に反映していく。

「地域計画」で定められようとする担い手に対し、「担い手加算」を設定し、意欲ある農業者への支援としてはどうか。

「担い手」は約1800人が該当する。該当者全員に十分な後押しをするためには、現状の交付金だけでは足りない。集落内で将来の担い手となる農家に対しては、令和5年度から3戸以上の農家グループに機械導入支援をする「集落農業守り隊応援事業」などを行っている。

「みどり認定」された農業者への加算を導入してはどうか。

丹波篠山市におけるみどり認定者はまだ少なく、環境に配慮した農業を推

QRコード



進する丹波篠山市にとっては有効な支援と考えられる。産地交付金を活用し、環境への配慮、意欲ある担い手の育成につながるよう「みどり認定加算」や「担い手加算」など丹波篠山市再生協議会で検討する。

「農都のめぐみ米」の今後の展開は。

令和6年度には「農都のめぐみ認証制度」で73ha生産され、市内米穀店や神明ホールディングスとの連携により販路を確保している。今後、農都めぐみ米の生産拡大、品質確保のためにはJAとの連携が重要であるため、引き続きJA、農家の皆さんの協力を得ながら、環境や生きものに配慮された米づくりが広がるよう取り組みを進めていく。



本多 紀元

1. ローカルインフルエンサーの発掘と連携について
2. さらに魅力のあるYouTubeチャンネルを

問1 SNSでの情報発信の重要性が高まってきている。SNSの情報発信に関する強化についてどのように考えているか。

SNSでの情報発信は重要であると考えられる。リアルタイムの情報発信、双方向コミュニケーションなども含め、情報の拡散力などを活用して、効果的な情報発信に努めていきたい。

ローカルインフルエンサーを発掘して市と連携してはどうか。

インフルエンサーの活用による動画作成や情報発信に取り組んできたが、できるだけ費用をかけずに情報発信していけるような連携ができないか検討する。

デジタル人材が市役所内にいない中でどのように正しく「検討」をするのか。

すべてを市役所内で行うわけではなく、分かることと分からないことを整理して、必要に応じて市民や企業、専門家の方から意見を聴取していく。

問2 丹波篠山市の公式YouTubeチャンネル「丹波篠山市視聴覚ライブ

QRコード



「ライブ」のチャンネル登録者数は3110人で、県下でも上位の公式チャンネルである。この強みを活かした事業を拡充していくべきだと考えるが、人員と予算が少ない中でどのように実現するか。

地域のイベントやまちづくりの取り組みは数多く、漏れなく映像として記録し配信するには視聴覚ライブライバー職員2名での対応は難しい場合があるため、外部委託を活用しながら対応していく。

市民から動画を集め、職員で編集して発信してはどうか。

映像制作は生涯学習につながる。既存のビデオサークルの活用も含め、市民の方々にも学習機会を提供しながら、幅を広げていく努力を続けていきたい。





桐村 裕一

子どもの体験格差を無くすために

QRコード



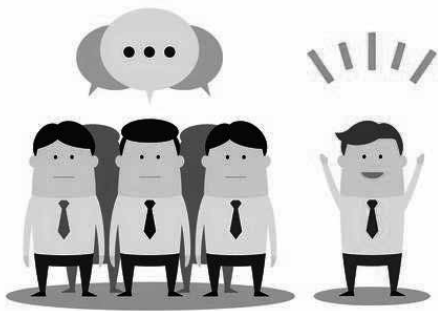
問 家庭環境や心身の状態によって、子どもたちが得られる体験には大きな格差がある。不登校の子たちにとって学校に足を踏み入れることが難しく、学習についての体験格差が生まれるため、全ての小学校に三つの教室(個別に勉強や心のフォローをする教室、やりたいことを行える集団教室、親が安心して集える教室)を創ってはどうか。

すべての学校にそのような教室を配置できればよいが、現在は段階的に優先順位をつけて、増室を計画中である。子どもそれぞれに合った学びの提供と、保護者へ学校の状況やオンライン対応等の状況を一律に情報提供すべきではないか。

市内の学校においてオンライン授業など必要に応じた対応をしている。今後、中学校にてデジタルコンテンツを用意し、一人でも多くの学べる環境を作っていく。保護者へは、今後も丁寧な説明をし、よりよい連携体制を構築していく。

先生の心の状態が体験格差へ大きな影響をあたえるため、先生への働き方

改革だけでなく、働く場改革を「#教師のバトン」を参考に行ってはどうか。メンタルケア等は適切に行っており、職員をサポートする「メンター制度」も設け、組織として対応している。学校の教職員組織は基本的にフラットな関係で、チーム学校として機能している。今後も風通しの良い職場環境を目指し取り込んでいく。



多様性を尊重し格差をなくそう



降矢 杏奈

働きながら子育てしやすい丹波篠山の未来と地域創生

QRコード



問 働きながら子育てしやすい環境を整えるために、保育園等の利用調整基準の透明化や公平な調整プロセスについてどのように取り組んでいるか。

令和2年度から保育所等の利用調整にかかる基準をホームページに掲載。また関係職員で入所決定選考会議を開催し、入所決定を実施。入所内定・保留通知書発送後の順位に対する問い合わせには、適切に回答するなどの対応を行い、各園の空き状況をホームページに掲載し公表するなど、公平性の確保に努めている。

利用調整基準表の見直しや改善等は、基準を設けているか。

市内の申し込みや保護者の就労状況等を見て見直し、基準表は、令和5年度に改正した。

審査点数結果について、保護者が納得できるよう資料を提供する、また利用者の就労状況の背景を把握するため、特記事項を知らせる項目をつけるなどできないか。

本年度は、現状のままとなるが、意見を反映しながら今後の改正について

検討する。

入所申し込み受付を1〜2カ月前倒しすることで、通知結果を早く伝えられ、保護者が必要な対応を早めにとることができると考えるが市の見解を問う。

申し込みを早めると保護者の就労状況等も変り、第一希望園の入所調整をおこなうため時間を要する。

育休退園制度の廃止や育休取得後の一定期間の利用継続措置を行えないか。

児童クラブは利用者が多く、施設の収容能力に余裕がない。育休退園制度の改善は、本市に保留児童が多く難しい。状況等を踏まえながら改正する。

女性の就業と子育て支援の両立を図るため、本市でも助成金等支援制度を導入してはどうか。

男女共同参画プランを基に進めながら、他市の事例を参考にしていきたい。





渡辺 拓道

地域振興基金とイベント重視行政からの
転換について

QRコード



問 令和6年度末に地域振興基金の残高は約10億円となる。まちづくり協議会への交付金など目的に沿った基本的な取り崩し必要額は1億円強であり、それだけでも基金はあと8年で枯渇する。行政が実施するイベント実施が基金取り崩し圧力を高めて、財政運営に不安が生じてきている。イベントを重視する姿勢を改めるべきではないか。

イベント重視行政との指摘は心外である。必要があるイベントを実施している。地域振興基金については、今後有効に活用していく。基金が無くなることは認識しているが、現時点で具体的な対策を考えているわけではない。

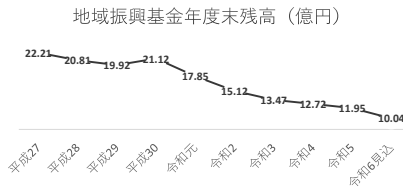
今後、新たな財源を考えなければならぬ。

国際博覧会オープニングのプロジェクト、シオンマップングについて、令和8年度以降にも新たな市の支出の発生が見込まれるのではないか。

翌年度からの実施に年約500万円が必要と考えている。1000万円の入場料を集めたいと考えており、市の追加支出は見込んでいない。

丹波篠山ABCマラソンは、合併以降200万円の運営補助であったのが、令和5年度には1800万円になった。本年度も1000万円用意しているが、収支は大丈夫なのか。また、市民の申し込みは、ここ10年で半分の200人になっている。マラソンのありかたについて市民の声を聞く時期ではないか。

追加募集で申込者も増えてきている。新たな企業協賛もお世話になっている。定員8千に対して7千人集まれば追加の補助は必要ない。ありかたについては、制限時間延長などの工夫を行い市民の賛同を得ている。



稲山 悟

1. 桜ビジョン策定の進捗状況と今後の展開方向について
2. 丹波篠山茶の振興と茶園の景観を未来に引き継ぐために

QRコード



問1 市内には何本のサクラがあり、管理はどのようにされているのか。

自治会に桜の管理状況を調査したところ約7100本あり、篠山城跡や国道沿いを含めると市内には約1万本以上であると推定している。自治会では下草刈りや道に張り出した枝の剪定などの管理はされている。

桜の維持管理に係る資金・財源を確保するための方策はどうするのか。

令和5年度から「丹波篠山の桜を守り、育むプロジェクト」としてガバメントクラウドファンディングに取り組んでいる。目標を大きく超える寄付が全国各地から寄せられ、持続的な財源として期待できると考えており、今後も継続していきたい。また、令和6年度から兵庫県にも支援いただいている。

桜ビジョン策定後の取り組みや、実施期間はどうか考えているのか。

ささやま協会の、商工会青年部、一部のまちづくり協議会への支援を継続し、桜ビジョンのもとで一体的に取り組まれるよう推進する。桜の成長に要

る期間を考慮し、中長期的な視点で進め、計画期間は令和7年度から令和16年度までの10年間を予定している。

問2 令和2年度近畿経済産業局「丹波篠山茶ブランド戦略アクションプラン」の取り組み状況はどうか。

丹波篠山茶は、その都度、必要な支援や補助をしてきた。アクションプランがそのままになっていることが分かった。生産者・農協・関係者と、丹波篠山茶の振興策を検討していく。



有居・桜のトンネル



岡 圭子

1. 視覚障がい者の方及び外国人住民の情報取得について
2. 防災対策ツールの導入を

QRコード

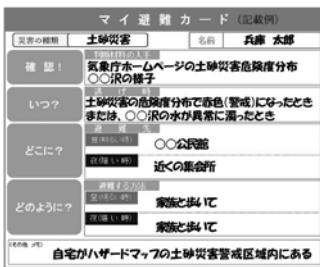


問1 「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に関する法律」が令和4年に施行された。自治体からの重要書類など自分の情報を確実に得るためにユニボイスアプリを導入してはどうか。

スマホがあれば簡単に文章を読み取ることができる。スマホで簡単に音声で聞くことができるため視覚障がいのある方だけでなく高齢者にも優しいアプリであると考えるが、見解を問う。

現在、視覚障がい者の方が書面等の印刷物から情報を得るには、補助者による代読が主になっている。また、導入にあたっては、複数の課題もある。外国人市民の情報取得については、多言語による相談体制の充実を図るため、10月に外国人市民相談窓口を庁内に開設した。やさしい日本語を用いながら対応したい。

問2 兵庫県では「マイ避難カード」の作成を推進している。これを作成することで、住民自身がハザードマップ等を確認し、実際に自分がどこに避難すべきかをあらかじめ認識することが可



能となる。また、個人情報や連絡先を記入する「避難カード」がある。これらのカードを作成し、市民自らが行える「防災への備え」の一つとして、市役所窓口に設置してはどうか。

また、楽しく学べる「ゲームで学ぶ防災プログラムの導入」についても検討してはどうか。

地域の住民学習や防災学習において、「マイ避難カード」を中心に啓発を進めている。市役所窓口等での設置については検討する。「防災ゲーム」については、「クロスロード」「避難所運営ゲームHUG」「ぼうさいダック」の3種類を利用し、防災学習を行っている。今後ともこのようなゲームの活用も含め学習し、防災意識の向上に努める。



小畠 政行

1. 「美しい農村、未来へ」の取り組みについて
2. 健康寿命延伸の取り組みについて

QRコード



問1 地域の活動を支援する人材を。市職員OBを地域サポーターとして登用しては。

現在、各支所に地域振興担当職員を配置し自治会長やまちづくり協議会等の伴走支援をしている。今後も担当職員を軸に進めていきたい。

「まちづくり協議会」の活動をコーディネートする専門性ある人材が必要では。

市内全てにまちづくり協議会が設立されて10年以上が経過している。改めて地域づくりを考える必要性を感じておりコーディネート導入を検討している。

日本遺産、日本農業遺産などの冠を活かすことが市の発展に繋がると考えるが。

先人から受け継がれてきた成果がそれらの冠に繋がっている。来年度の国際博覧会では、そういったことがさらに深まるよう取り組んでいきたい。

問2 市の広報で健康寿命延伸について啓発してはどうか。

健康寿命を数値で示すなど、効果的



福住の田園風景

な啓発をしていきたい。

集落の公民館等で高齢者と子ども達のふれあいの場づくりを行う自治会等に支援をしてはどうか。

地域に対して、出前健康教育やいきいき倶楽部等の支援を行っている。各自治会でのいきいきサロンなど、地域の力による取り組みにも期待したい。

市民の健康寿命が延伸することで、医療費等への財政効果は。

社会保障費の抑制等に加え、本人の生きがいや家族の介護負担の軽減など経済効果では表せないたくさんのプラス効果がある。

議会改革と子どもたちへの 主権者教育の取り組みについて

議会改革の先進地

加賀市では、平成23年に議会基本条例を制定し、「開かれた議会」「市民が参加する議会」「政策提案する議会」「監視する議会」「審議する議会」の5つの項目について、様々な取り組みを展開しています。

また、市民に開かれた議会の活動として、小中学校に議員が出向き議会の概要を説明する「議会おでかけ教室」、高校生との意見交換会、小・中・高校生を対象とした子ども議会の開催など、幅広い年齢層をターゲットにした主権者教育を展開しており、そこで得られた意見を基に、市へ提案を行うなどの取り組みをしています。

子ども議会教室の運営

金沢市では将来の自治を担う子どもたちを対象に、夏休み期間を利用して、「子ども議会教室」を開催しています。子どもたちに市議会の役割や仕組みを学習してもらうこと、また議員との交流を通じて市政に興味をもってもらうことを目的として、平成29年から実施



加賀市での研修

しており、今では募集定員を超えるような人気の教室となっています。また、保護者が付き添いで参加することで、保護者に対して議会を身近なものに感じてもらう機会として活用しています。

議会改革における更なるステップアップのため、今回視察を行った加賀市議会、金沢市議会の取り組みを参考としつつ、市民に開かれた身近で信頼される議会運営に努めていかなければならないとの思いを強く感じました。

課題解決に向けた「知の伝承」を

総務文教常任委員会では、地域振興や行政事務の改善、先進事例の研究など、多岐にわたるテーマに取り組んでまいりました。

自治会との連携事業

ワクワク農村モデル事業では、地域サポート職員による自治会への支援が進められ、約230の自治会で事業説明が終わり、「ワクワク農村創生補助金」を活用した取り組みも増加傾向にあります。平成26年から導入された地域おこし協力隊においては、任期終了後の定着率が86%に達しており、地域活性化に大きく貢献していることを確認しました。

業務の効率化と適切な分析を

行政事務事業評価では、企画総務部や行政経営部、教育委員会の各事業について評価を行いました。人事管理では、時間外勤務や病気休暇の削減を目指し、改善策の策定とデジタル技術を活用した効率化の推進を提案しました。また、滞納事務においては市税の徴収率向上のため、柔軟かつ効率的な体制の構築が必要である。丹波篠山A

BCマラソンについては、定員割れの原因分析と広報手段や企画内容の見直しが必要であると考えます。

先進事例の研究

岡山県奈義町と鳥取県倉吉市で研修を行いました。奈義町では、「しごとコンピニ事業」など地域独自の取り組みが高齢者や子育て世代の生活を支えている様子を学びました。一方、倉吉市では、伝統的建造物群の保存と活用を両立を目指した「分散型宿泊施設」などの取り組みが地域活性化に寄与していることを確認しました。

地域の持続的な発展には、知識や経験の継承が欠かせません。行政事務においても、人事異動に伴う担当者スキルや知識を新たな担当者に引き継ぐ必要があります。本委員会では、そのような「知の伝承」を基盤とした政策推進を今後も進めてまいります。



奈義町での研修

市民生活を守るための事業継続を！

民生福祉常任委員会では、「安全・安心な暮らし」「ごみの減量」「健康増進」など、多岐にわたるテーマに取り組んでまいりました。

安全・安心な暮らしを守るために

防災資機材備蓄状況と防災倉庫の現地踏査では、市の防災倉庫の非常食や寝袋などを確認しました。また消防本部と出張所の現地踏査では、本建物部の老朽化と職員数の増加を踏まえ、消防本部庁舎の移転、新築に向けての検討が始まっていると報告を受けました。

清掃センター現地踏査では、産業廃棄物の処理状況等を確認しました。

また、長寿福祉課の認知症への取り組みを審査しました。認知症の正しい理解についての取り組みがさらに進化することを期待しています。

地球環境を守るために

保健福祉部の「子どもの食の応援事業」、市民生活部の「中央公民館事業費」および環境みらい部の「気候変動対策事業費」について、行政事務事業評価を行いました。それぞれに課題はある

ものの、市民生活や地球環境を守る事業として、今後も継続すべきであると結論に達しました。

災害・環境について学ぶ

茨城県常総市と神奈川県藤沢市を訪問しました。常総市では、9年前、鬼怒川の堤防が決壊し、市の3分の1が浸水、多大な人的および住宅被害がありました。この豪雨大災害の教訓から、13の近隣市町による「大規模水害時の広域避難に関する協定」を締結、また、市民一人ひとりの避難方法「マイ・タイムライン」の作成や、9月10日を「常総市防災の日」として定め、小中学校で一斉防災教育を実施、さらには、小学校区単位での自主防災組織の結成など、防災への新しい取り組みを実施しています。

藤沢市では、ごみの減量、資源化について研修を受けました。15年前から可燃および不燃ごみの戸別収集を開始し、市民の負担軽減に取り組んでいます。また、環境フェアなどのイベントを開催し、ゴミ減量・資源化への市民の意識を高めています。

自治体や企業との連携を

産業建設常任委員会では、市内の上水道事業や各種事業の調査および観光・農業について先進地視察を行いました。

安定した水道の供給を

上下水道事業の経営状況や浄水場、下水処理場の現地踏査を行い、水道の安定供給を第一に取り組みされていることを確認しました。将来の経営状況に留意しつつ安定供給に努めるべきだと考えます。

市民へ制度の周知を

耐震改修促進事業、簡易耐震診断促進事業などについては、地震の備えに役立つ事業であるため広く市民へ周知いただきたいこと。また、獣害対策事業については、獣害防止柵の維持管理、未整備地区への拡充が必要で、中長期的な視点を持って事業を進めていただきたいことを市へ報告しました。その他、ため池等整備事業や水道の管路更新などについて調査しました。

先進事例の研究

岐阜県郡上市、福井県越前市を訪問

しました。郡上市では、夏の郡上おどりに多くの観光客が訪れます。本市のデカンショ祭と共通する課題も多くあり、今後も課題の解決に向け、両市の交流を続けていきたいと考えます。

越前市では、JA越前たけふと連携した有機栽培のお米づくりが盛んで、独自の販売も行い高い米価を維持しています。また、「オーガニック都市宣言」も行われており、生産から消費までを市内で循環させる先進的な取り組みを学びました。越前市とJAとの良好な協力関係が先進的な有機農業や豊かな自然環境を支えていました。

本市においてもまずはJAと協力して有機農業の拡大に取り組むべきだと考えます。



浄水場の現地踏査

広聴機能の充実に向けて

議会広報特別委員会では、前期委員会から引き続き広聴機能を高める取り組みを行っています。

令和6年1月発行の109号より、「クイズで答えて図書カード」の企画を開始。25名の応募があり多くの意見をいただきました。

先進議会の取り組みに学ぶ

三重県伊賀市議会と滋賀県野洲市議会へ「市議会だより」と「議会報告会」について視察研修を行いました。

伊賀市議会の「議会だより」は、読みやすく、市民に伝わるレイアウトを心掛けて発行しています。また、幅広い世代の方と未来に向けたテーマで意見交換できるよう、昨年度から一会場で開催する「タウンミーティング」を実施しています。野洲市議会でも、「目次を付ける」「見出しを大きくする」などに加え、「右綴じから左綴じへ」「縦書きから横書きへ」「文字数を減らす」「特集コーナーの開設など大幅なリニューアルをし」「シンプルにわかりやすく」するために数多くの工夫をしています。

視察研修で学んだ取り組みを参考に

し、本市議会だよりにも導入していくよう、さらに調査研究をします。

「議会報告会」へ参加呼びかけ

11月10日から24日まで市内6会場で実施した「議会報告会」では、視察研修で学んだ多くのことを取り入れました。

議会報告会のテーマ「子育て・教育支援」の対象となる保護者の参加しやすい日程を把握するため、アンケート調査を行い、希望の多かった土、日の午前中に開催しました。また、チラシを作成し、まちづくり協議会・自治会長会の他、保育園・こども園・小学校・中学校の保護者に対しても配布を行いました。QRコードから参加の事前申し込みができるよう工夫しました。

参加者の中に

は、赤ちゃん連れの保護者、小学生など、いろいろな年齢層の参加を得ることができ、熱心で有意義な意見交換が行われました。



野洲市での研修

議会市民相談コーナーを開設しました

令和6年10月21日から24日の4日間に、6地区(篠山・多紀・城東・西紀・丹南・今田)で「議会市民相談コーナー」を開設しました。頂いたご相談内容につきましては、適切に対応いたします。



今田まちづくりセンターの様子

クイズ(112号)の回答

- 問1 表紙のチューリップの色は ①3色
- 問2 9月会議の通称は ②長月会議
- 問3 11月の議会報告会テーマは ②子育て・教育支援

正解は



→抽選は議会広報特別委員会
で実施しました。

正解者の中から当選15名の抽選を厳正に行いました。当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

クイズの応募に際し、お寄せいただいたご意見ご感想等は、貴重なご提言として、より良い「議会だより」の発行に繋げていきます。ありがとうございました。

応募いただいた際の個人情報については、目的以外に一切使用しません。

～賛否の分かれた議案等の公開～

| 議案等 | 議席番号 議員名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | |
|-----------|-----------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---|
| | | 金 崎 美 和 | 原 田 豊 彦 | 本 多 紀 元 | 堀 毛 宏 章 | 岡 圭 子 | 荒 木 礼 子 | 桐 村 裕 一 | 小 畠 政 行 | 隅 田 雅 春 | 前 田 え り 子 | 渡 辺 拓 道 | 稲 山 悟 | 降 矢 杏 奈 | 野 々 村 康 | 安 井 博 幸 | 大 内 正 博 | 向 井 千 尋 | 上 田 英 樹 | |
| 認定 第1号 | 令和5年度丹波篠山市一般会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定 第2号 | 令和5年度丹波篠山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定 第3号 | 令和5年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定 第4号 | 令和5年度丹波篠山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※○は賛成、×は反対。 ※上田議員は議長のため、採決には加わっていない。

【反対討論】

認定第1号～認定第4号

「誰もが住み慣れたところで安心して暮らせるよう、命と暮らしを最優先に」

- 物価高騰の中、生活に困窮される方々に対する家計支援策は切実に求められているが、国民健康保険は、県の保険料率統一に向けて少しずつ上げていく方針となっている。賦課限度額が、後期高齢者分で2万円引き上げられた。介護保険は制度の見直しの度に、給付は削減されるのに負担は増える。これでは高齢者の生活を支えることはできない。(前田)

【賛成討論】

認定第1号～認定第4号

「概ね適切な予算執行につき認定に賛成を」

- 「一般会計」では市民の健康寿命延伸や生活の質向上に向けた取り組みを実施、また「国民健康保険」では医療費の適正化に向けた取り組みを実施した。また、「後期高齢者医療」では広域連合のシステム変更に対応し、市民サービスの向上を推進、「介護保険」では利用者が必要とするサービスを確保する中で、介護サービスの充実と地域包括ケアシステムの構築を進めており、3つの会計全てにおいて、適正に執行されていると考える。(降矢)

受理した要望等を市長に申し入れ

■レプリコンワクチンに関する陳情書

山崎 香織 氏

■商工会に対する支援要望について

兵庫県商工会連合会 会長

本市議会議長あてに、2件の要望等を頂きました。上記の陳情書および要望書については、適切に対応されるよう市長に申し入れました。

諮問第2号

人権擁護委員候補者の推薦について

令和6年12月20日会議において、酒井隆明市長から森本浩子もりもとひろこ氏(64)を人権擁護委員に再任することについて、同意を求める提案がありました。

採決の結果、全員賛成により人権擁護委員の再任に同意致しました。

「議員と語る会」を開催 思いや意見を伺いました

市内の各種団体と意見交換を行いました。

応募された団体から出された希望のテーマに基づき、各団体の活動内容や市施策への改善提案など様々な話をお聴きしました。今後の議員活動に繋がっていきます。

民生福祉常任委員会

- ① NPO法人スマイルポケット
- ② スマイルポケットの活動から見えてきた子育て世帯の実情と今後の活動について
- ③ 活動を行うためには、安定的な資金確保が必要。困難を抱える家庭に対する支援と信頼関係の構築の必要性。固定の居場所や事務所のない。
- ④ 頂いたご意見は全議員で情報を共有するとともに、市(執行者)に情報提供を行いました。

民生福祉常任委員会

- ① 生活協同組合コープこうべ協同購入センター丹波
- ② 買い物支援、地域の集い場づくり
- ③ 地域の食料品店の撤退、公共交通の縮小化、高齢者世帯の増加などにより高齢者を含めた生活弱者の買い物が困難であること。コロナ禍で失われたコミュニケーションの復活。移動店舗の運営には運転手不足や車両維持費の高騰が課題となっており、さらなる拡大が困難な状況であること。
- ④ 頂いたご意見は全議員で情報を共有するとともに、市(執行者)に情報提供を行いました。また、民生福祉常任委員会でも継続調査し、今後の課題解決に繋がっていきます。

委員会報告の見方

- ① 参加団体名称
- ② 意見交換テーマ
- ③ 参加団体の課題
- ④ ③に対する常任委員会の対応

議会だより112号 訂正とお詫び

令和6年7月19日発行の市議会だより112号におきまして、内容に一部誤りがありましたので、次のとおりお詫びして訂正します。

なお、ホームページにおいても同様に訂正しました。

■4ページ4段落

誤：答 負担金は、人口衛生が撮った画像を専門業者で解析してもらう費用である。
正：答 負担金は、人工衛星が撮った画像を専門業者で解析してもらう費用である。

■6ページ表

誤：14 荒木 礼子 議員
正：14 野々村 康 議員

政務活動報告会にお越し下さい

政務活動費を充当して行った調査や研修などについて各党派、党派無所属議員が報告します。ぜひお越しください！

日時 令和7年2月1日(土)
10時～11時30分
場所 四季の森生涯学習センター東館
1階 大会議室
その他 申込みは不要

広告

自宅葬から会館葬まで…
セレモニーホール
ネムールの木 MORI
ドライアイス・寝台車は24時間365日対応させていただきます。
24時間受付 0120-39-1005
FreeDial
ネムールの森篠山葬祭会館 丹波篠山市東吹1258-2

広告

「新しい未来を創造、提案する」
土木・建築総合施工会社 **総合建設**
西村建設鋼業株式会社
社 全国鉄構工業連合会会員・国土交通大臣認定工場(R)
〒669-2501 兵庫県丹波篠山市奥原山327 TEL.079-557-1316
[E-mail] s-nishi1@iris.eonet.ne.jp FAX.079-557-1317

～ 議会報告会の開催：11月10日～24日 市内6地区 ～



西紀地区(11月16日開催)

【子育て教育のために必要なこと】

- ・子どもたちに質の良い教育や専門教育で個々の能力を伸ばしていきたい。
- ・世代を超えて、より多くの人に子育てへ関わってもらうシステムが必要。

【解決するための対策】

- ・学校統合も踏まえて、専門教育など個々に対応した教育環境の整備や高齢世代と子育て世代が気軽に交流できる環境作りが必要。

丹南地区(11月16日開催)

【子育て教育のために必要なこと】

- ・少子化と人口集中地域の格差是正や教育環境の充実が必要。
- ・市内の中高生のバス通学が不便で充実が必要。

【解決するための対策】

- ・地域によって人が集まるところ、人が減っていくところの原因が明確になっていないので、その研究を行い対策をとる必要がある。
- ・市内バスやその他の公共機関の活用を検討する必要がある。



今田地区(11月10日開催)

【子育て教育のために必要なこと】

- ・子どもは減少しているが、子育て世代の移住者が増えてきているので、子どもを中心にした世代を超えた交流が必要。

【解決するための対策】

- ・未婚の若者へのマッチング、男女共同参画の意識改革、不登校やひきこもりの方の声を聴く温かい支援が必要。

今後の取り組み

質疑・意見については、①特別委員会含む議会での調査・研究 ②市長に申し入れ ③政策討論会による議会全体会での議論の分類を行い、その結果を開催地区のまちづくり協議会会長・地区自治会長会理事へ送付します。報告会要旨は議会ホームページに掲載しています。

参加された皆様のご意見については、今後の議会活動に活かしていきます。ありがとうございました。

みんなで語る意見交換会

市民に開かれた身近で信頼される議会、市民の負託に応えられる議会の実現のため、さまざまな取り組みを行っていますが、そのうちの一つに「議会報告会」があります。

直近の市議会の諸活動を報告し、地域の皆さんの声を聴くとともに、将来に向けてのご意見をいただく重要な機会と位置づけ、昨年11月、市内6地区(篠山・多紀・城東・西紀・丹南・今田)で開催しました。

今年度は、「子育て・教育支援」をテーマとし、ワークショップ形式で行いました。参加者に子育て教育のために必要なことを語っていただき、その実現に向けて、「男女共同参画の意識改革」や「高齢世代と子育て世代が気軽に交流出来る環境の整備」、「子育てに関わる人材の確保」など課題解決のための様々なアイデアが出てまいりました。下段に、各地区で出された意見を集約しましたが、世代や地域の特性が表れた内容となっています。

篠山地区(11月10日開催)

【子育て教育のために必要なこと】

- ・負担軽減のための保護者への支援が必要。
- ・子どもの居場所づくりや教育の体験格差をなくす施策が必要。
- ・秋の観光シーズン、通学時の安全対策が必要。

【解決するための対策】

- ・保護者と子どもへの両面から支援が必要。
- ・子どもの習い事等送迎支援や居場所づくり、通学時の安全を地域で見守る取り組みが必要。



多紀地区(11月24日開催)

【子育て教育のために必要なこと】

- ・子どもをもっと産みたい、ここに住んで良かったと思える政策が必要。

【解決するための対策】

- ・若者の給与アップ、家賃の安い住まいの確保、保育施設の充実、移住祝い金や出産祝い金の更なる増額など、世代に特化した施策が急務。

城東地区(11月17日開催)

【子育て教育のために必要なこと】

- ・地域全体で子育てを支援していく意識をさらに高めていく。
- ・子育て人材の確保が必要。

【解決するための対策】

- ・スポーツや専門教育の子育てに関わる人材の確保が必要。



次回の会議は2・3月に開催します。

【通称:弥生会議】

2月 4日(火) 本会議(第1日)

議案提案 他

2月17日(月) 本会議(第2日)

執行方針・当初予算 他

3月 4日(火) 本会議(第3日)

補正委員長報告 他

3月11日(火) 本会議(第4日)

一般質問 他

3月12日(水) 本会議(第5日)

一般質問 他

3月25日(火) 本会議(第6日)

委員長報告

(常任委員会・分科会)

○予算決算委員会分科会

補正予算審査

2月 5日(水)民生福祉

2月 6日(木)産業建設

2月 7日(金)総務文教

2月27日(木)全体会

当初予算審査

2月18日(火)産業建設

2月19日(水)総務文教

2月20日(木)民生福祉

2月21日(金)産業建設

2月25日(火)総務文教

2月26日(水)民生福祉

3月18日(火)全体会

◎いずれも午前9時30分開会予定。どうぞ傍聴にお越しください。なお、市のホームページ(YouTube)でも本会議を中継します。また、市役所本庁舎(1階ロビー・4階議場前)に設置のモニターでも本会議の視聴が可能です(リアルタイムのみ)。

※傍聴にあたり、託児を希望の方は開催日の2週間前まで、手話通訳を希望の方は開催日の4週間前までに議会事務局へご相談ください。

※議会だよりに対するご意見やご感想は、下記までお寄せください。

TEL (079) 552-6855

FAX (079) 552-7104

gikai_div@city.sasayama.hyogo.jp

丹波篠山市議会だより 第113号

令和7年1月21日発行

編集・発行

丹波篠山市議会広報特別委員会

堀毛宏章・本多紀元・金崎美和

前田えり子・降矢杏奈・大内正博

〒669-2397 兵庫県丹波篠山市北新町41番地

TEL (079) 552-6855

丹波篠山市議会 検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境にやさしい
植物油インキを使用しています。

全戸配布の広告募集

企業(お店)PRは「市議会だより」で!!

募集締切:令和7年2月28日(金)

市議会だよりでは、紙面を有効活用し、広告掲載を行っています。掲載を希望される事業所様は、議会事務局(552-6855)までお問い合わせください。

なお、掲載基準や申込書などは市議会ホームページに掲載しています。

| 規格 | 枠数 | 広告掲載料 |
|-------------|------|---------------|
| 最終ページ フルカラー | 最大2枠 | 1枠:年間 40,000円 |
| 内ページ 2色 | 最大4枠 | 1枠:年間 20,000円 |

サイズはこのページ下の2枠をご参照下さい。

(市議会だよりの概要)

発行部数:17,000部

配布場所:市内全世帯(自治会経由)、本庁舎・支所・市内企業・医療機関・理美容施設等

発行回数:本会議(3月、6月、9月、12月)の翌月発行 計4回

まらなみ

昨年は、東京都知事選挙、衆議院議員選挙そして兵庫県知事選挙があり、SNSによる選挙運動の拡大とそのあり方が大きな問題となっています。必要な対策が実施されないと選挙の公正は保てないと思います。(堀毛)

12月は師走というだけあり、議会も含めて丹波篠山市全体も慌ただしく、私自身も抱えていた仕事が一挙に舞い込むような形で走り回ってしまいました。何事も、早めに取り組むことが重要だと改めて実感する1ヶ月でした。(本多)

AIデマンドバス「丹波篠山のるーと」に乗りました。電話予約も可能ですが、スマートフォンやLINEでも予約でき、新しい公共交通の形です。とても便利です。ぜひ多くの方に知って頂き、是非ご利用下さい。(金崎)

マイナンバーカードは、発行から10回目の誕生日までが有効期限。でも、油断は禁物。カードに内蔵の電子証明書は、5年毎の更新が必要。来年度は、約2750万枚の電子証明書が更新時期を迎えます。有効期限の確認を。(前田)

私が選んだ今年の漢字一文字は『紡』。市民の声、人と人のご縁を紡ぎながら、今までの当たり前を変え、目先だけではなく長期的視点を持ち、地域の幸福度向上を目指す、実り多き1年にしていきます。(降矢)

自伐型林業の現場に行き、作業道の新設等により森林の資源が適切に整備され活用されていました。農業との両立、ドッグランや昆虫採取、松茸再生など、交流の場・観光資源としての活用も期待できます。(大内)

広告

各種建築板金工事(屋根・外壁・雨樋) / 一般土木工事(基礎・埋立・造成)
内装工事(軽天・木工事、各種造作全般) / 解体工事(木造・鉄骨・RC解体)



馬場板金

建設業許可 / 兵庫県知事許可 第 752258 号
産業廃棄物収集運搬業 / 兵庫県知事許可 第 02808152412 号

TEL 079-557-0560

FAX 079-506-4535

〒669-2504 兵庫県丹波篠山市西野々28

広告

軽自動車 買取強化中!

動かないお車も
喜んで買取りします!

詳しくは ☎ 0120-338-196

市内全域出張査定無料

HPからのお問合せはこちら

福山オートセンター

〒669-2202 兵庫県丹波篠山市東吹830
(営業時間 9:30 ~ 18:30 定休日 毎週火曜日)